

埼玉県政 12年の検証

縮小版のため、読みにくい文字がありますことをご了承ください

1 安心・安全

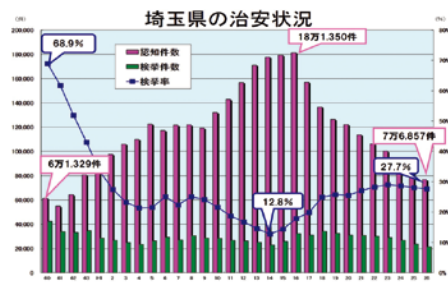
～治安の回復～

全国一警察官増員 日本一の民間防犯パトロール

自主防犯活動グループ(わがまち防犯隊)
515団体(H16)⇒5856団体(H27)
全国の1/8が埼玉県にあるまで育成

犯罪認知件数57%減少

18万1千件(H16)⇒7万7千件(H26)



住宅侵入盗は77%減少

住宅対象侵入窃盗認知件数(1万世帯当たり)
53.5件(H16)⇒12.0件(H26)

交通事故死者数半減

369人(H15)⇒173人(H26)
記録のあるS31年以降最少に

～医療・介護・子育ての安心～

パパ・ママ応援ショップ全国1位

子育て応援提携店20,222店(H19⇒H27)

国を動かした生活保護政策

※関連を裏面の「人財」開発に掲載

発達障害支援人材の養成10,500人

保育所、幼稚園等での早期発見・支援を促進

育成の効果

早期発見できる園の割合

研修前 27.4% → 研修後 82.3%

子供の行動に変化 67.9%

出典：発達支援サポーター育成研修受講者向け調査

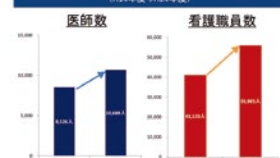
増加率断トツの特養施設定員数

H15比17,170
床増床(増加率
140.3%)
同時期で、東京35%、
神奈川102%、
千葉103%



医師・看護職員数も着実に増加

過去10年間の県内の医師・看護職員数の推移



医師増加数
2,162人
(増加率全国5位)
看護職員数
14,862人
(増加率全国2位)

病床増加分を活用して医療機能を充実

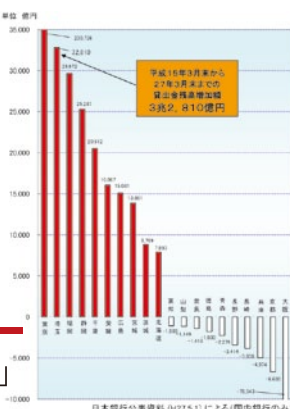
基準病床数(精神科病床等を除いた入院病床数)
43,788床(H14)⇒49,623床(H27)

- ①災害拠点病院
8⇒16病院(H15⇒H26)
- ②周産期母子医療センター
6⇒10施設(H15⇒H27)
- ③NICU(新生児集中治療室)
87床⇒121床(H15⇒H27)
- ④がん診療拠点病院
1病院⇒25病院(H15⇒H27)

2 元気な埼玉経済

銀行貸出金残高の増加額全国2位

埼玉県は3兆2810億円増加(H15～H27)

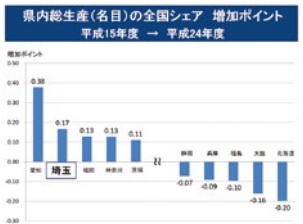


企業本社の転入超過数断トツ全国一

※関連を裏面「稼ぐ力」に掲載

県内総生産の全国シェア増加 全国2位

愛知県について全国2位(H15度→H24度)



農業産出額の突出した伸び率

埼玉県と全国の農業産出額の推移

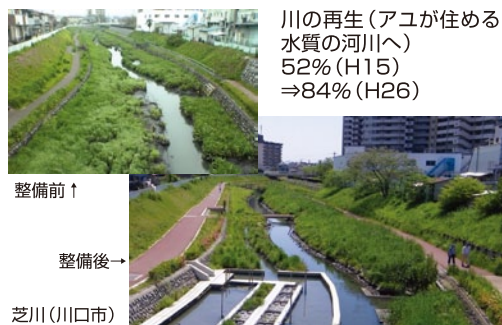


全国平均を大きく上回る

3 環境

みどりの再生6500ha

就任前の30年間で失った6,500haのみどりの再生(H27度中達成見込み)



4 人財の育成

「埼玉発世界行き」トップクラス

留学生派遣約1,100人(H23からの4年間)
埼玉279人、東京231人、大阪109人(H26度)

不登校出現率

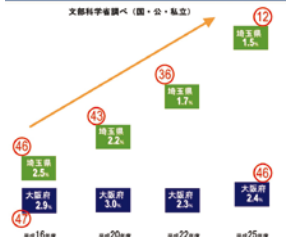
ワースト8位からベスト8位へ

公立中学校の不登校生徒の割合(100人当たり)
40位3.31人(H18度)⇒8位2.37人(H25度)

高校中退率

ワースト2位からベスト12位へ

高校中退率 都道府県ランキング

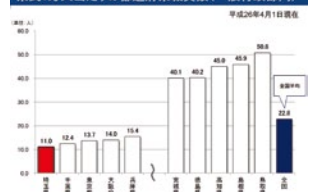


5 行政改革

最小最強の県庁

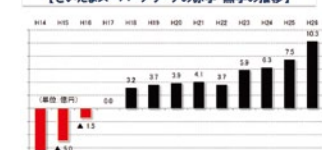
全国で最も少ない職員数を実現
県内1万人に対して11人
全国平均は22.8人

県民1万人当たりの都道府県職員数(一般行政部門)



さいたまスーパーアリーナ経営改善

【さいたまスーパーアリーナの赤字・黒字の推移】



6億6300万円の県からの補助金(H14度)を逆に10億円を県に納付するまでに改善

浦和競馬も累積赤字を23億円解消

今では県とさいたま市に2.8億円の納付金を支出

埼玉高速鉄道も黒字の見通し

民事再生事業の手法を導入。H27度黒字化の見込み